

## (刈谷市) かりサポステーション(かりがね小学校地域学校協働本部)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 15 校、中学校 6 校、特別支援学校 1 校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員	1 人	
		地域学校協働活動推進員	21 人	
		統括コーディネーター	1 人	
		地域コーディネーター	19 人	
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	CS を導入している学校数	小 15 校	中 6 校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 15 校	中 6 校	



### (活動の実際)

刈谷市では、令和 4 年度より市内全 22 の学校（15 小学校・6 中学校・1 特別支援学校）に学校運営協議会を設置するとともに、4 小学校をモデル校として地域学校協働活動推進員を配置して地域学校協働活動をスタートさせた。令和 5 年度には 4 小学校と 3 中学校に推進員を追加配置した。年間 3 回、市全体の推進員会議を行い、各校の取組状況を紹介し合いながら情報交換をすることによって、本活動がさらに活発化した。令和 6 年度には残りの 7 小学校と 3 中学校に追加配置される予定である。

#### <本年度のかりがね小学校の取組>

- おはなしボランティア    ○内科検診・身体測定等補助    ○教育相談活動中の自習教室見守り活動
- ベルマーク集計    ○プール清掃    ○水泳授業見守り活動    ○特別支援学級買い物学習補助
- 1 年生活科授業（サツマイモのリース作り・ふかし芋作り）補助    ○2 年学区のお店探検補助
- 3・4 年遠足引率補助と拠点交通立番    ○5・6 年家庭科授業（裁縫・ミシン）補助
- 書初め展作品掲示と作品返却    ○市指定研究発表会手伝い    ○郷土特産品（芋川うどん）作り体験
- おやじ倶楽部主催イベント（春祭・梅雨祭・夏祭・秋祭・冬祭）    ○入学説明会受付補助

### (◎成果と●課題)

- ◎昨年度の学校・学年行事をもとに、教頭と相談しながら学校支援活動の年間計画表を年度初めに作成したことで、ボランティア募集がスムーズに行えるようになった。
- ◎学校運営協議会の席上、推進員が活動報告を行うことで、委員の理解が深まった。
- ◎児童からボランティアへ、教職員からボランティアへなど、校内に「ありがとう」の声が増えた。
- ◎ボランティアに参加することにより、先生方の苦勞を知り、学校への協力姿勢が強まった。
- 推進員は単独ではなく複数で行った方が効果的であるし、やがて世代交代しなければならないこともある。後継者の育成については常に考えておかなければならない。

### (関係者の声)

- ・書初め展の掲示ボランティアに参加した。腰が痛くなる作業だった。今までこれを授業後に先生方がやってくれていたのだと分かり、もっともっとできることを協力したいと思った。（地域住民）
- ・1 学期に玉止めや玉結びが上手にできなかった子が、2 学期にはずいぶん上達していた。継続して関わることで、子供たちの成長ぶりが見られてうれしい。（地域住民）
- ・子供たちの素直でかわいい姿に癒された。たくさんあいさつしてくれてうれしかった。（地域住民）
- ・遠足に行ったとき、たくさんのボランティアの人が立っていてくれたので、安心して踏切や交差点を渡ることができた。（児童）
- ・ミシンが動かなくて困っていたらすぐに助けてもらえて、うれしかった。（児童）
- ・ボランティアの皆さんがプール掃除をしてくれたおかげで、授業時数を確保することができるとともに、かなりの負担軽減となった。（教員）
- ・水泳の見守りや交通立番など、子供たちの安心・安全面を確保する上でとてもありがたかった。（教員）
- ・学区探検の引率のおかげで、複数の店に行くことができ、子供たちの学びに効果があった。（教員）
- ・サツマイモのリース作りでは、つるの準備をしてくださり、かなりの負担軽減になった。（教員）